

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路 安曇野市 新設区間（安曇野道路） 計画説明会

説明会
配布資料

完成イメージ

令和6年4月
長野県 安曇野建設事務所
安曇野市役所 都市建設部



※現段階の設計を基に作成したフォトモンタージュであり、今後の検討状況により変更の可能性があります。

<説明会等の内容>

1 開会

2 あいさつ

3 説明事項

I. 安曇野道路

(i) 事業概要 (過去の経過含む)

(ii) 設計概要 (道路構造や事業範囲幅等)

(iii) 調査予定 (測量・地質調査等)

今後の進め方

II. 関連市道整備

(i) 検討状況

(ii) 今後の予定

4 意見交換等

5 閉会

(閉会后、個別にご意見やご相談をお聞きします)

意見交換等の
主な対象項目

(i) 事業概要：安曇野道路の概要（ルート）

長野自動車道と高瀬川右岸道路を結ぶ新しい道路を整備します。

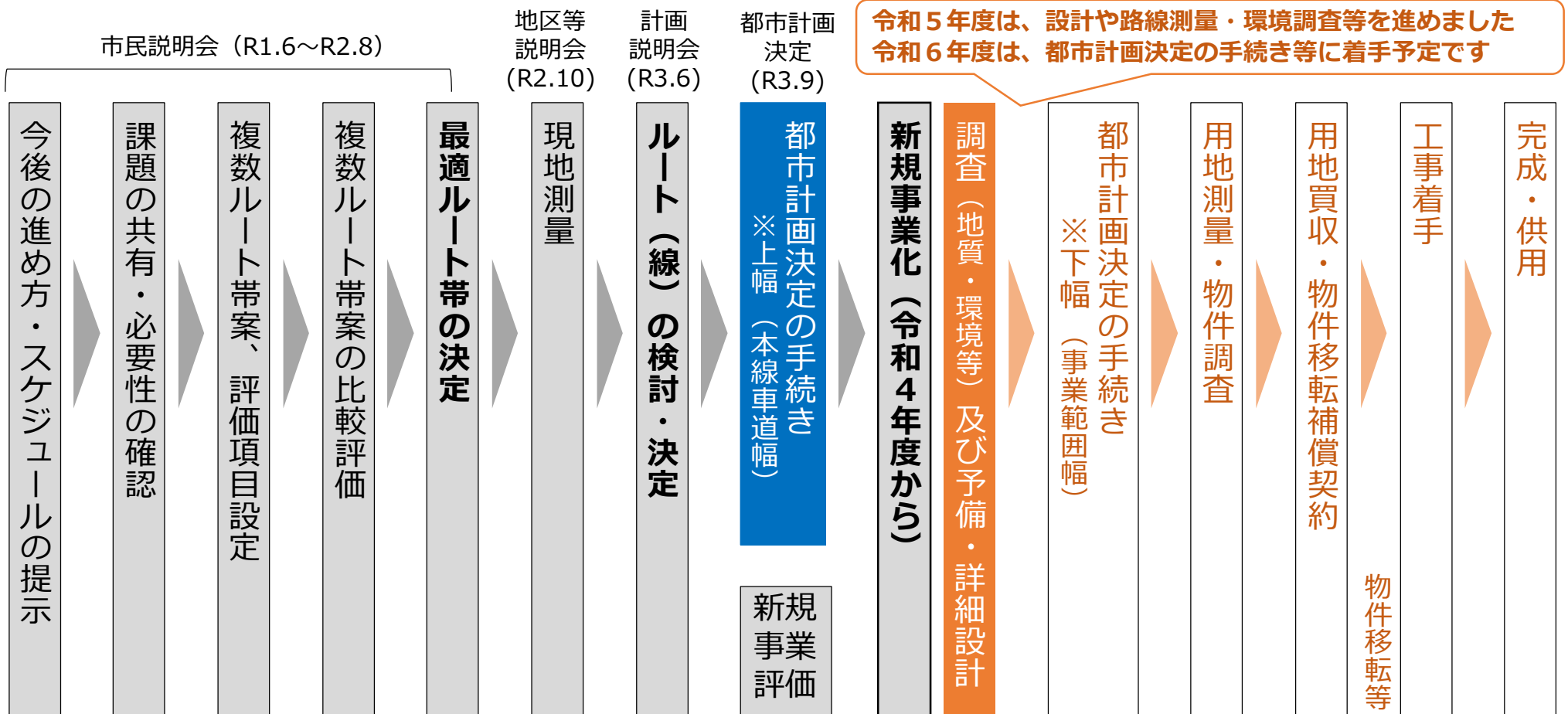
犀川右岸および高瀬川右岸の地区に出入口(既存路線へ接続、立体交差形式を基本)を設置し、高速道路へのアクセス性を向上させるとともに、市街地内の通過交通を新しい道路へ転換させます。

地域分断、農地買収等の影響を少なくするため、ルートは、犀川及び高瀬川にできるだけ寄せるよう計画しています。



安曇野道路 事業の流れ

計画説明会(R4.8~9、R5.11、R6.4)



構想段階 事業準備段階 事業実施段階



市民説明会(R2)



地形測量(R3)



地質調査(R4)



長野道上での測量(R5)

都市計画決定について

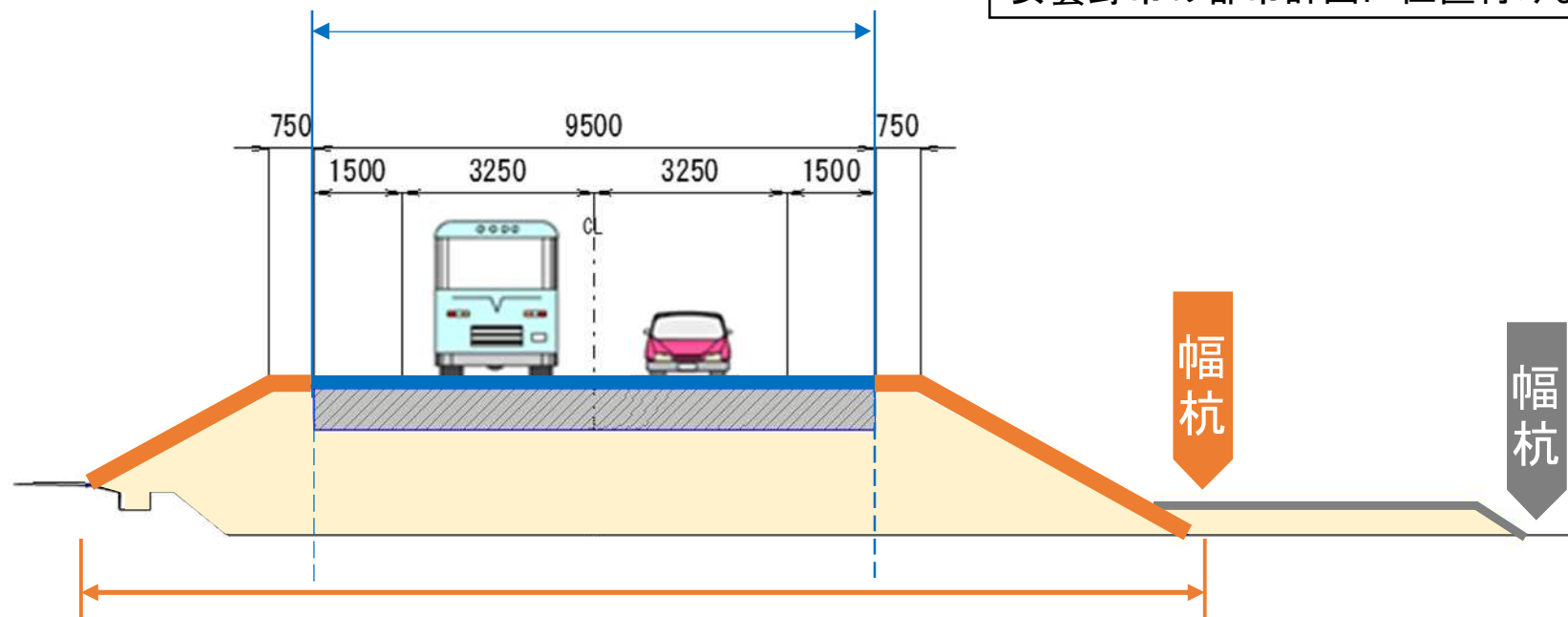
安曇野道路は、安曇野市の将来のまちづくりに向け、「広域化した市域の連携強化」「災害時の代替路確保」「観光地へのアクセス向上」といった役割を果たすものです。

その役割を確実に果たすためには、計画的な整備が不可欠となりますので、安曇野道路を、安曇野市の基幹となる重要な都市施設として都市計画に定めていきます。

R3. 9都市計画決定

9.5m

道路の計画ルートを
安曇野市の都市計画に位置付けました。



事業範囲幅 ※道路の構造により異なる

測量や地質調査等の結果をふまえ、擁壁や盛土など道路の構造について設計の精度を高め、盛土法面なども含む、道路として実際に必要となる範囲(影響幅)について、あらためて都市計画決定(変更)の手続きをとります。

(I) 安曇野道路

(ii) 設計概要 (道路構造や事業範囲幅等)

※一部IC名の“仮称”を省いています

(1) 安曇野北IC (仮称) イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路

至 安曇野IC

光橋

長野道 犀川橋

Aランプ
長野道上り線への
入口ランプ

Dランプ
長野道下り線からの
出口ランプ

犀川

安曇野北IC
(仮称)

Bランプ
長野道上り線からの
出口ランプ

Cランプ
長野道下り線への
入口ランプ

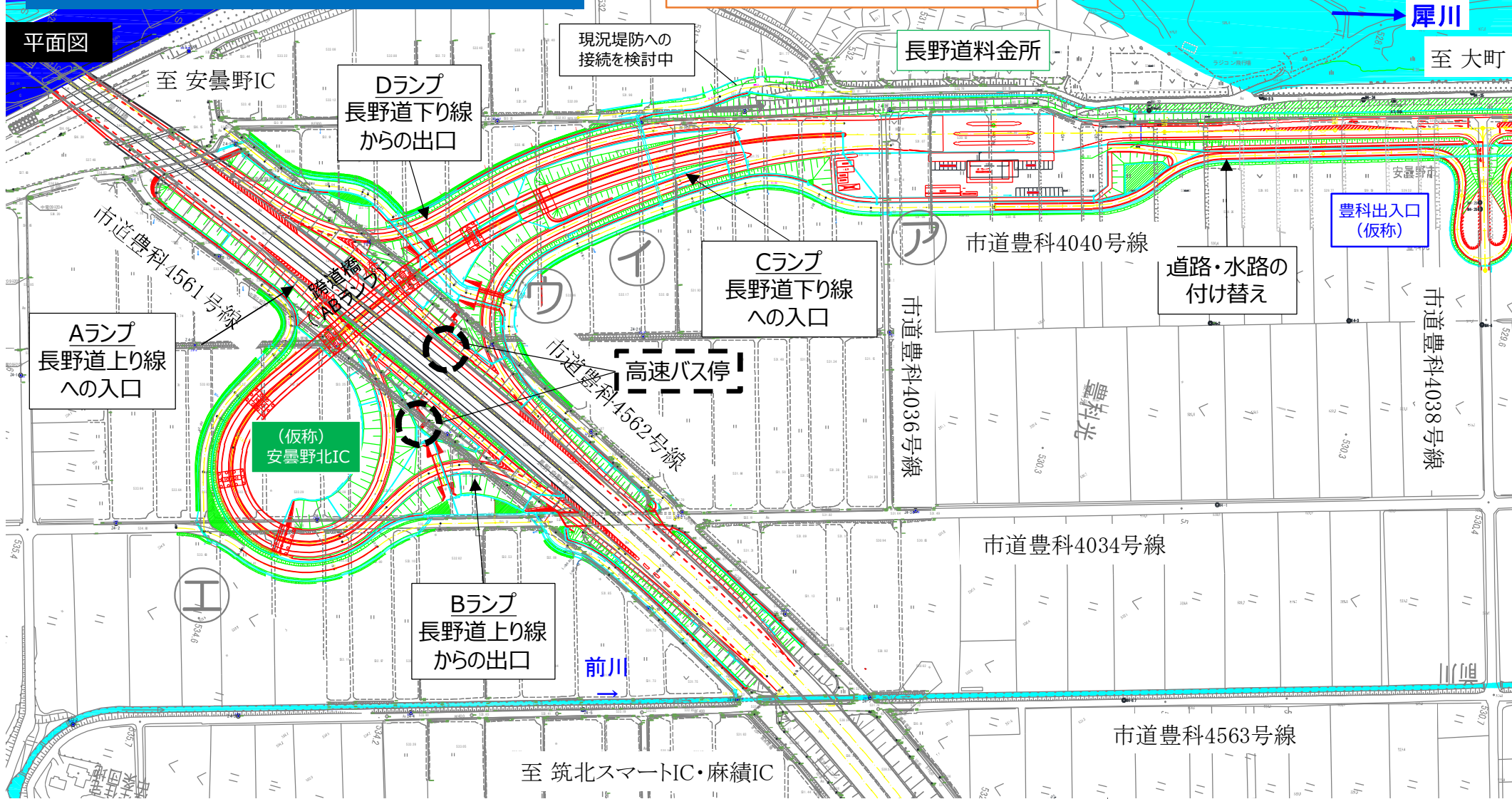
長野道料金所

至 筑北スマートIC・麻績IC

(1) 安曇野北IC (仮称) 計画図

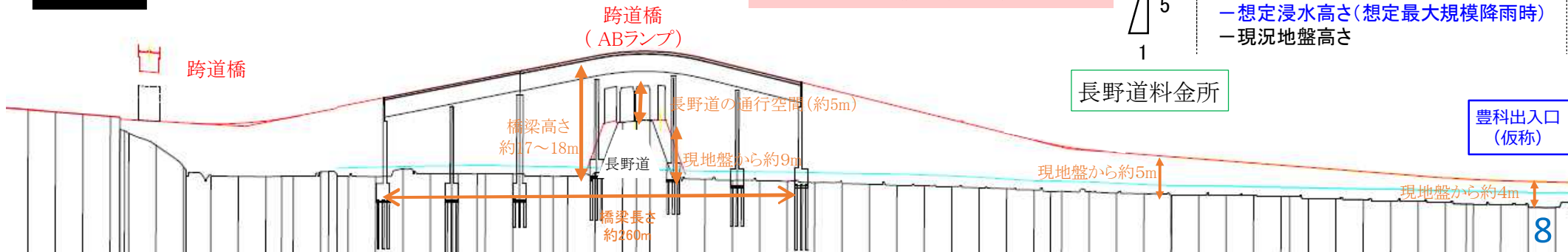
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



縦断面図

注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています

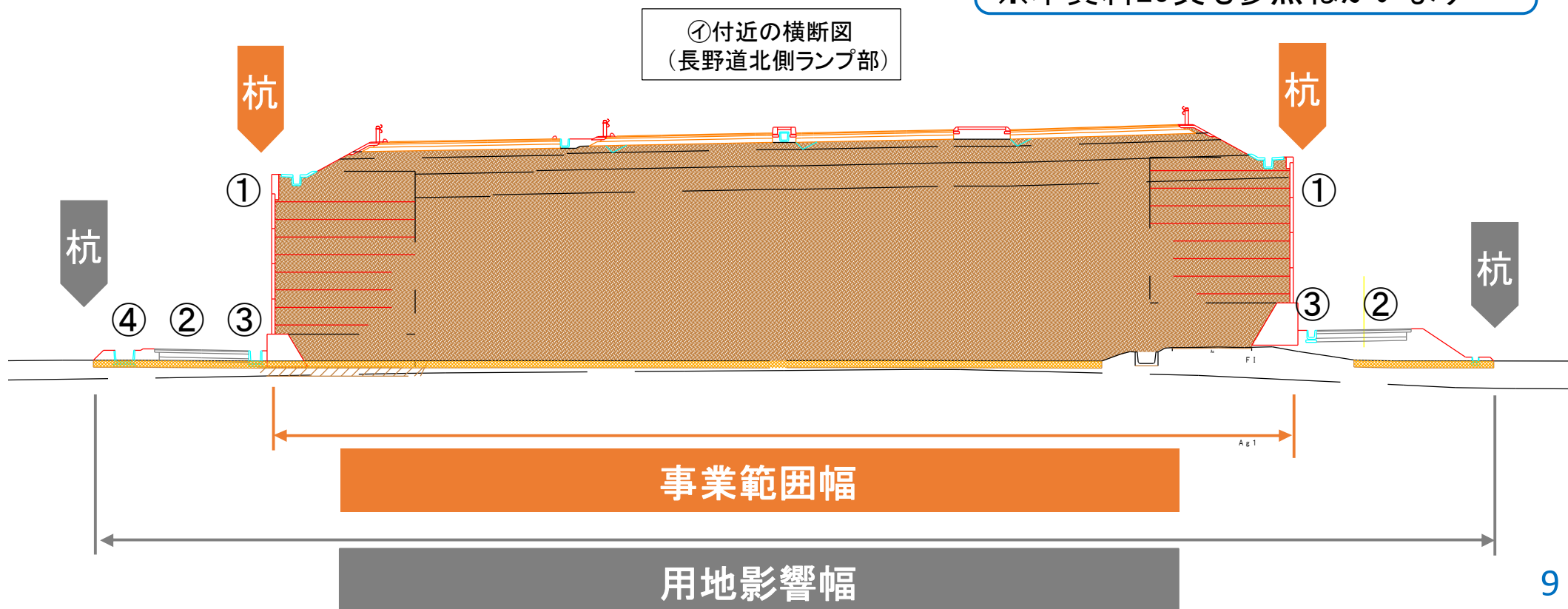


(1) 安曇野北IC 道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ① 農地への影響を抑えるよう、直壁の補強土壁等による構造とします
- ② 近傍の道路(市道・農道)や水路は、安曇野北ICの横等へ付け替えを行います。
(補強土壁等までが都市計画決定予定の事業範囲、畔の法下までが用地影響幅となります)
- ③ 安曇野北ICと付替え道路の間に道路排水を設けます。
- ④ 付替え道路と農地の上に用水路を設けます。

今後、現地に幅の目安となる杭を設置予定です(R6.5~6予定)
※本資料29頁も参照ねがいます



(1) 安曇野北ICの事業範囲・用地影響幅

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

㊦ 安曇野北IC料金所付近：約60m＋市道や用水路等
・料金所施設や駐車場等があるため、広がっています

㊧ 長野道北側ランプ部：約40～80m
・料金所側は4つのランプが合流するため、約40mです
・長野道側は4つのランプが分かれるため、約80mです

㊨ 長野道近辺：(部分的な影響)
・長野道両脇は、長野道法面や側道の範囲を活用するため、影響は部分的です
・長野道北側は、市道や水路の付替えにより、広い部分に影響します
(市の歩道計画等により、今後変更となる可能性があります)

㊩ 長野道南側ランプ部：(変則的な影響)
・ランプがループ(曲線)になっているため、影響は変則的となります
・ループの内側についても、用地買収を予定しています

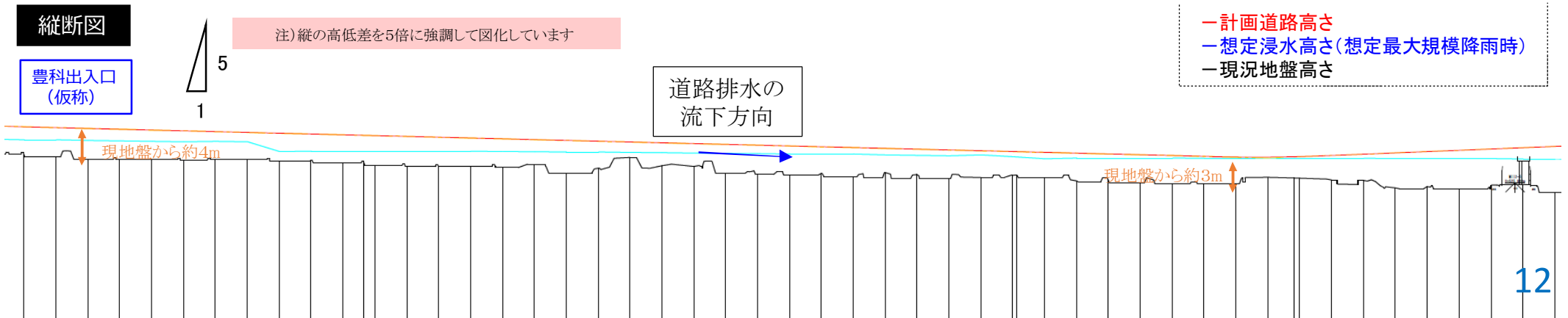
(2) 犀川右岸 (安曇野北IC ~ 明科IC) イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(2) 犀川右岸 (安曇野北IC~明科IC) 計画図

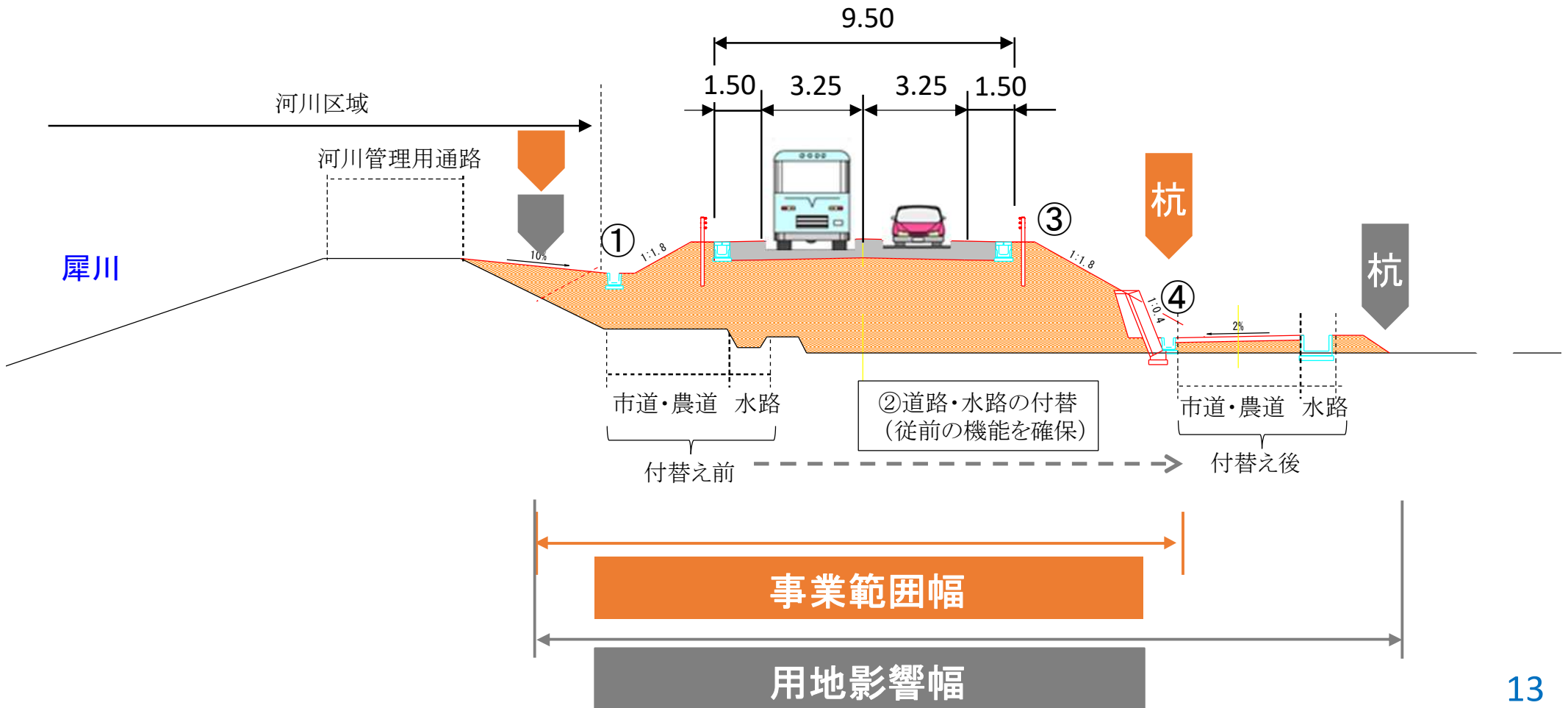
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(2) 犀川右岸（安曇野北IC～明科IC） 道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ①農地への影響を抑えるよう河川堤防へ寄せ、道路盛土と河川堤防の間には排水側溝を設けます
- ②堤防沿いの道路(市道・農道)や水路は、安曇野道路の農地側への付け替えを行います。
(ブロック積みまでが都市計画決定予定の事業範囲、畔の法下までが用地影響幅となります)
- ③浸水想定に対応した道路高さにします。
- ④盛土の農地側については、盛土法面保護と、農地への影響低減の観点から、ブロック積み整備し、付替え道路・用水路との間に排水側溝を設けます。



(2)犀川右岸（安曇野北IC～明科IC）事業範囲・用地影響幅等

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

㍑ 市道豊科4038号線付近：約20～25m

- ・豊科出入口付近は別途影響する範囲があります

㍑ 市道豊科4039号線付近：約20～25m

㍑ 市道明科4042号線付近：約20～30m

- ・安曇野道路が堤防と並行でなくなるため、影響範囲が広がってきます
- ・第二水源地付近は、影響が変則的になる見込みです

- 犀川堤防沿いの道路排水は概ね光排水樋管から犀川への排水を検討しています
犀川・前川等での冬期水質調査では、環境基準等を上回る項目は確認されていません
- 大気質調査を犀川右岸と高瀬川右岸で実施し、現況の把握を行いました
- 騒音・振動調査等について、今後、豊科・明科・穂高にて実施を予定しています

(3) 犀川右岸（明科IC付近）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路

至 松川村・大町市

安曇野道路

Bランプ
大町方面からの
出口ランプ

明科IC
(仮称)

至 国道19号

Cランプ
大町方面への
入口ランプ

Dランプ
長野道方面からの
出口ランプ

Aランプ
長野道方面への
入口ランプ

犀川

堤防管理用通路

至 長野道

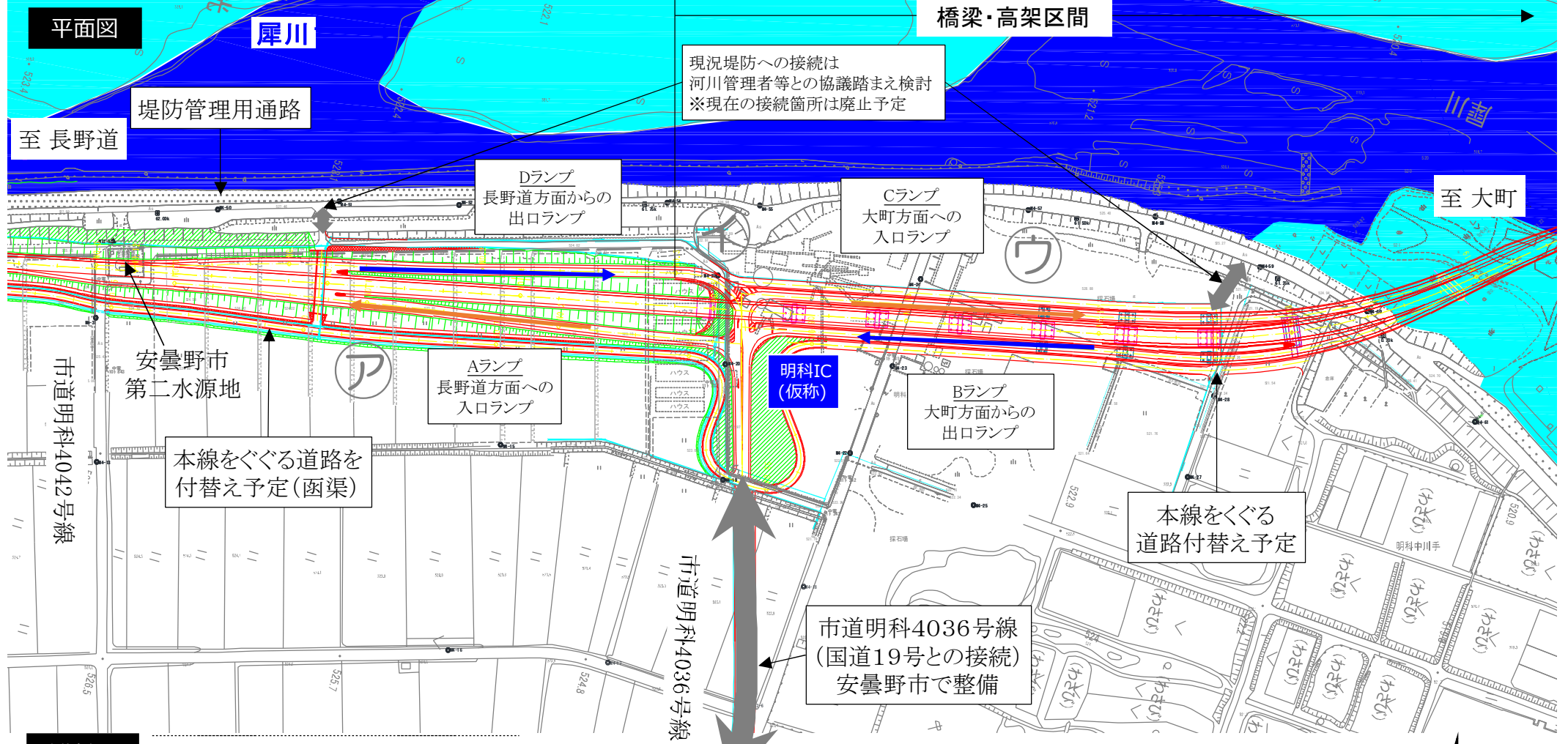
豊科出入口
(仮称)



(3) 犀川右岸 (明科IC付近) 計画図

現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

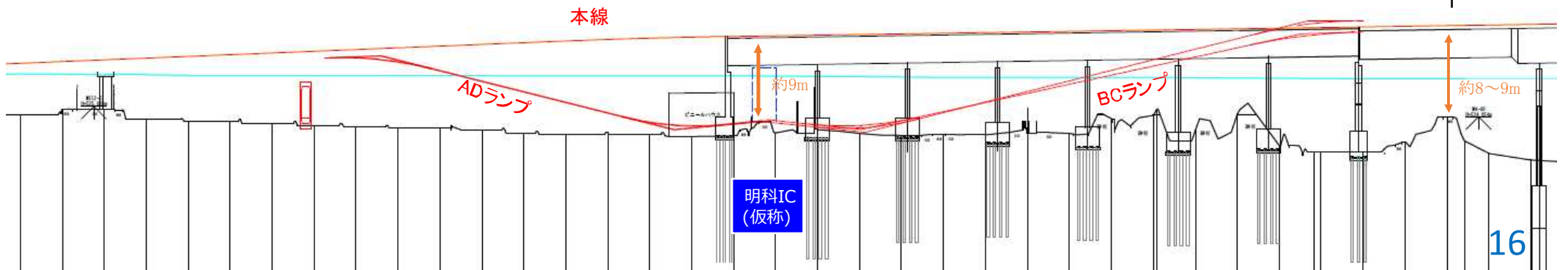
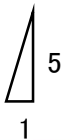
※ランプ：道路相互を連結する道路



縦断面

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

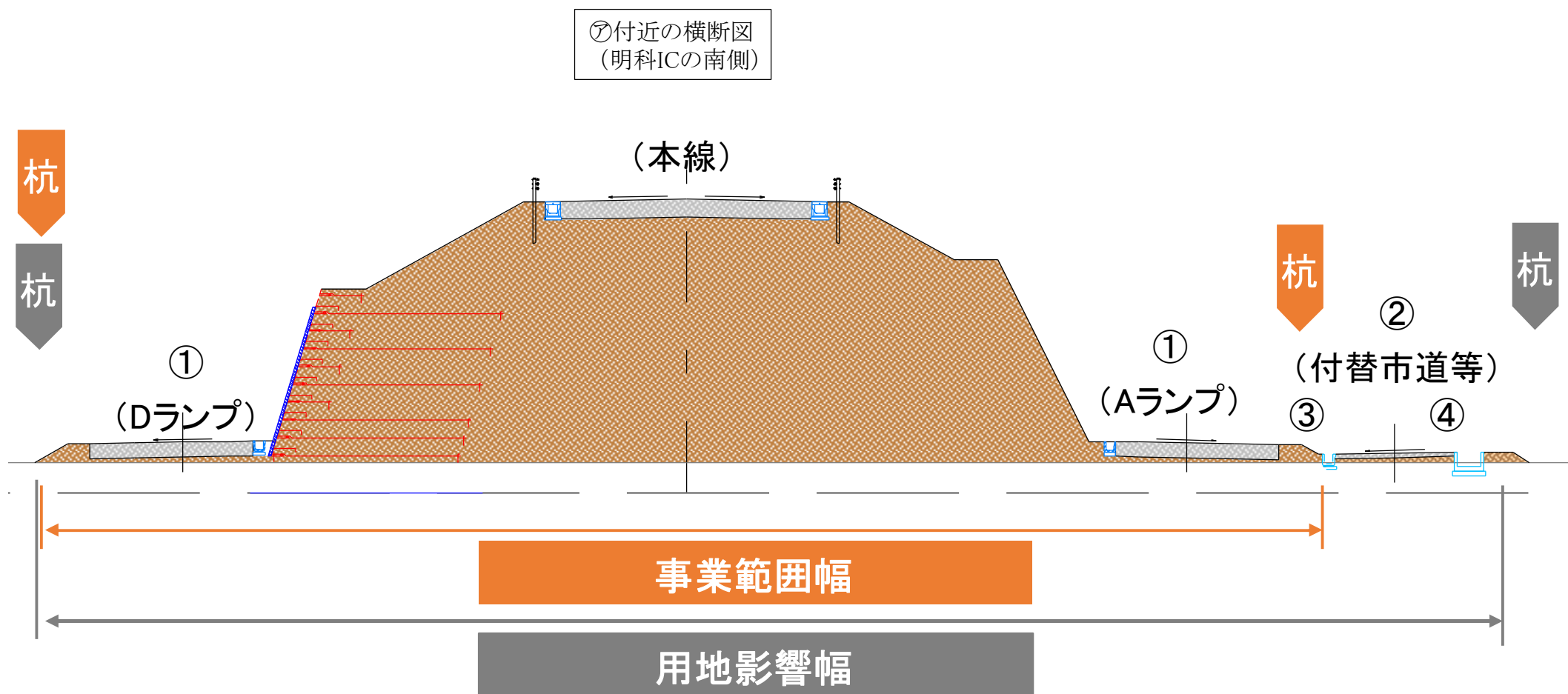
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



(3) 犀川右岸（明科IC） 道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ① 明科ICでは、安曇野道路本線の両脇に乗り降りするためのランプを設けます
- ② 近傍の道路（市道・農道）や水路は、明科ICの横へ付け替えを行います。
- ③ 明科ICと付替え道路の間に道路排水を設けます。
- ④ 付替え道路と農地の間に用水路を設けます。



(3) 犀川右岸（明科IC付近）事業範囲・用地影響幅等

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

- ㊦ 明科ICの南側(Aランプ・Dランプ) : 約40~55m
 - ・横断道路(函渠)付近 : 約40m
 - ・北側へ向かうほど、道路高や盛土等の関係で影響幅が広がります
- ㊧ 市道明科4036号線 接続部付近 : 約35~50m
市事業の影響を含め、別途影響する範囲が広がります
- ㊨ 明科ICの北側(Bランプ・Cランプ) : 約35~45m
 - ・接続部の南側は、上記㊦同様に高さや盛土等の関係で影響幅が広がります
 - ・接続部の北側は、付替え市道が両側に整備予定です

- 橋梁は現場条件等から以下4区間に分け、今後詳細な検討・設計を行います

▶明科高架	コンクリート橋	延長約300m	} 全延長 約1770m
▶渡河部	鋼橋	延長約640m	
▶穂高高架(南)	鋼橋	延長約450m	
▶穂高高架(北)	コンクリート橋	延長約380m	

- 明科ICのB・Cランプと穂高南ICのADランプの橋梁は、コンクリート橋を予定しています

(4) 三川合流部 (明科IC ~ 穂高南IC) イメージ図

現段階のイメージ図をお示ししています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



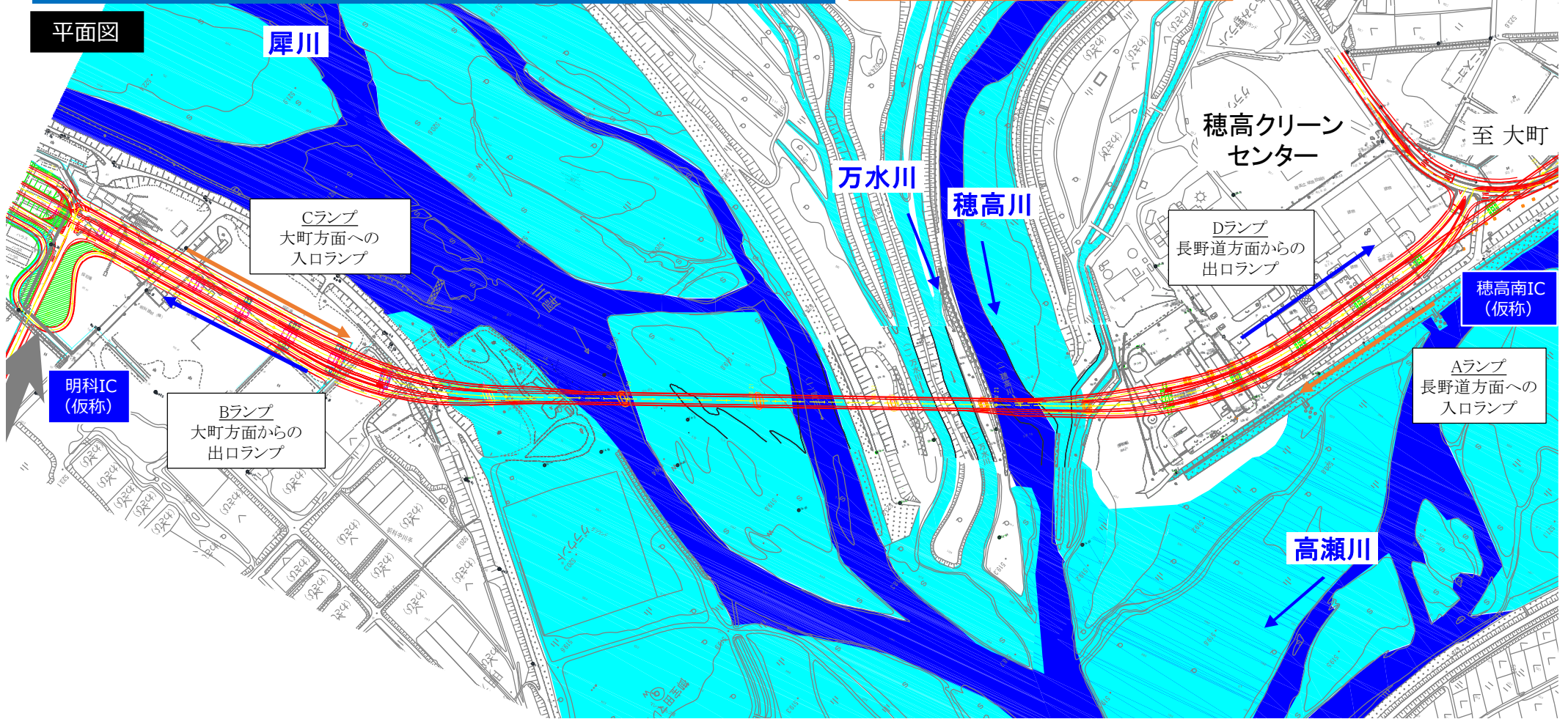
(4)三川合流部（明科IC～穂高南IC）平面図

現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路

平面図

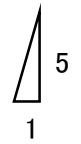
犀川



縦断面

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

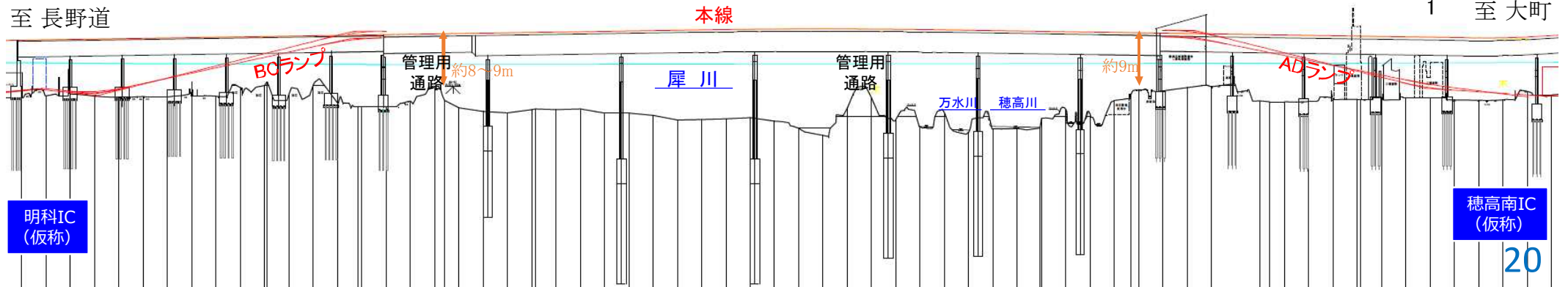
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



至長野道

本線

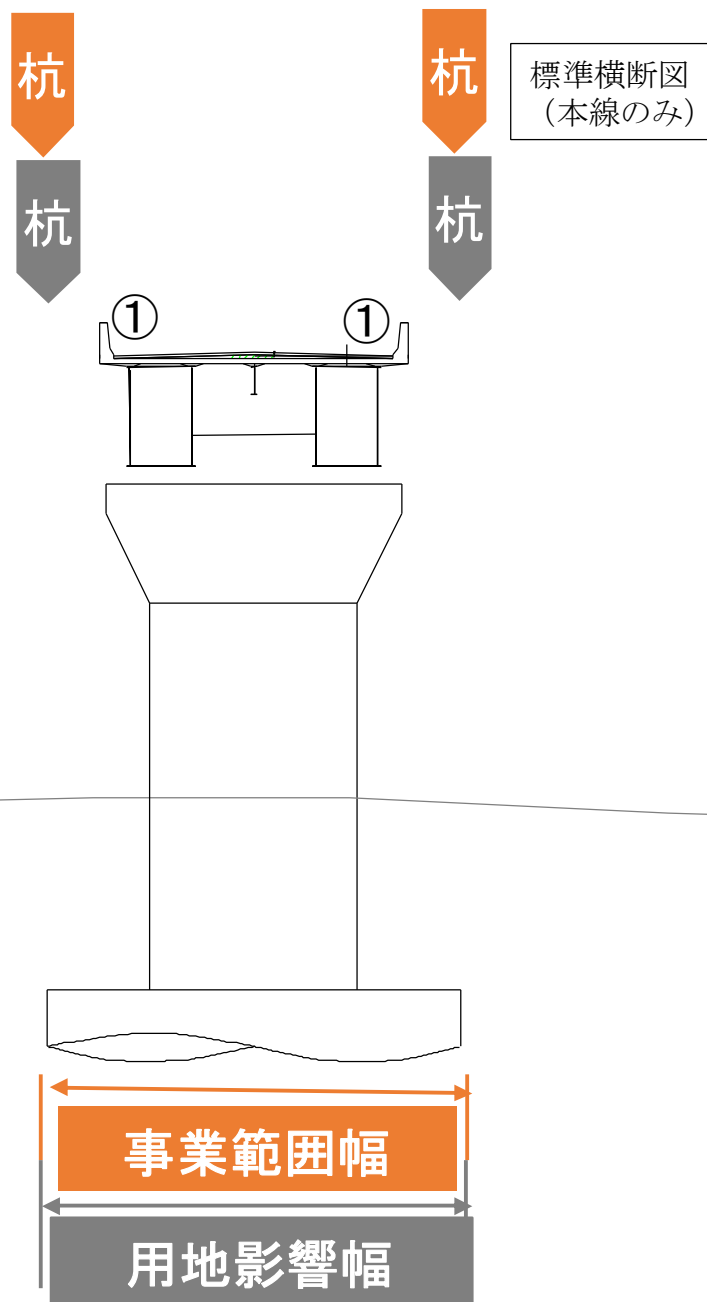
至大町



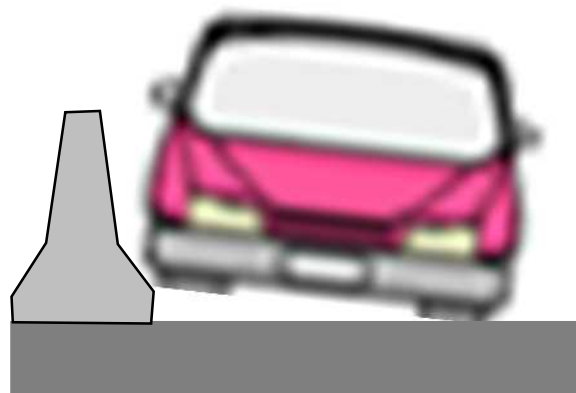
(4) 三川合流部（明科IC～穂高南IC） 道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ① 安曇野道路本線は幅員9.5mにコンクリート製の防護柵を設けた幅となります
- ② 犀川の両岸では、本線に加えてIC乗り降りのランプが必要となるため、幅員が広いです。



防護柵のイメージ



安全性を高めます

車両衝突時に、先に
タイヤがのりあげるため、
車両本体への損傷が
小さくなります

橋桁のイメージ



景観を阻害しない 褐色系等を検討中

- ・ 塗装しない鉄骨の色
- ・ 経年変化で
赤褐色→黒褐色に変化
- ・ 表面に生じる安定サビは
鉄骨を守る保護膜の役目

(4) 三川合流部（明科IC～穂高南IC） 基礎工法の事例

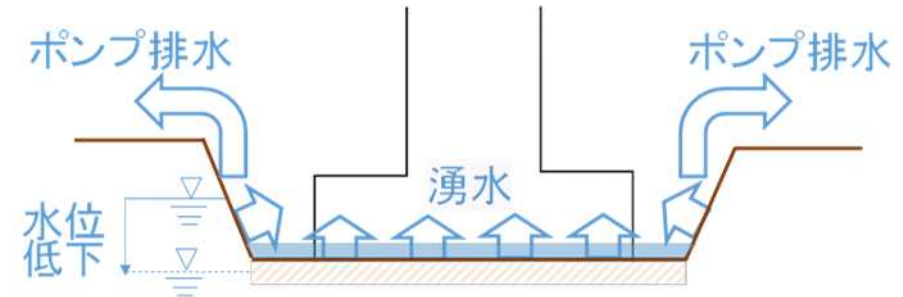
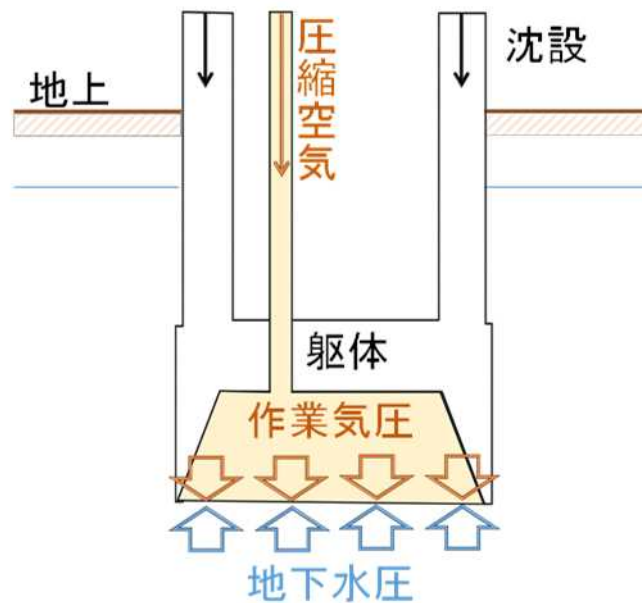
- 地質調査ボーリング結果等をふまえ、橋脚の底版位置を検討しました
 - ・河川内は、地中深さ20m程度のニューマチックケーソンにより地下水位低下を低減します
 - ・明科IC周辺の陸上部は、地下水位よりも高い位置を底版位置とし、地下水位低下を低減します

○河川部（犀川）

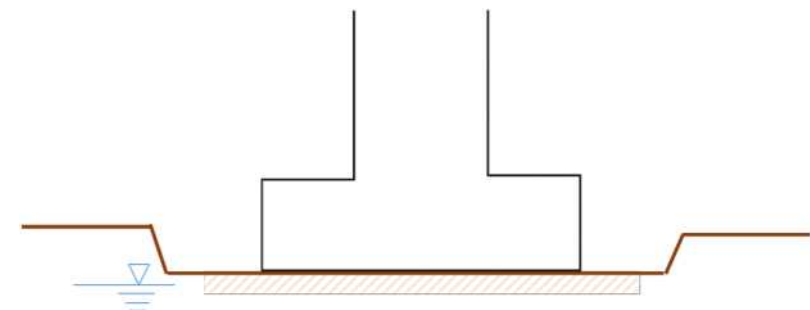
○陸上部（明科IC付近）

地下水位面以下まで掘削すると湧水が発生しやすい

ニューマチックケーソンによる湧水防止
(躯体を地上で構築後に沈設させる)



地下水位より高い位置までの掘削とする



(5) 高瀬川右岸 (穂高南IC~穂高北IC) イメージ図

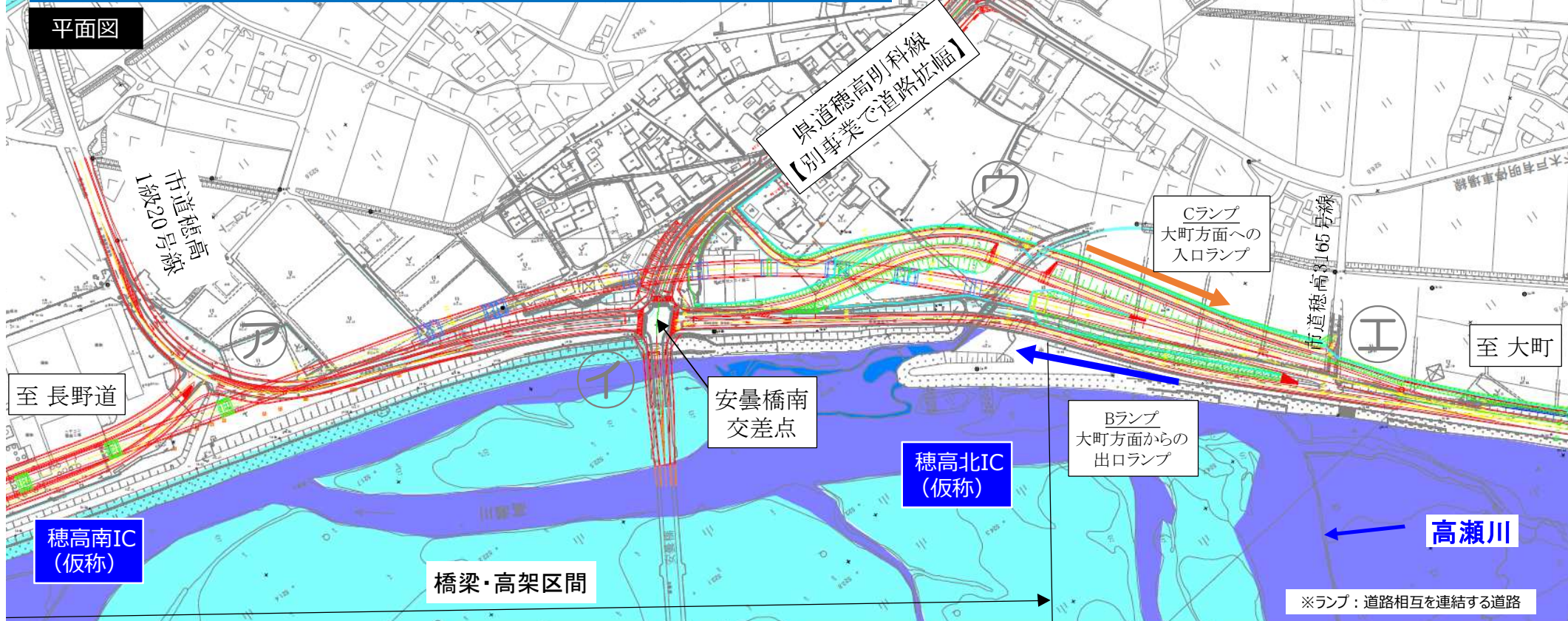
現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(5) 高瀬川右岸 (穂高南IC～穂高北IC) 計画図

現段階の図をお示ししています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

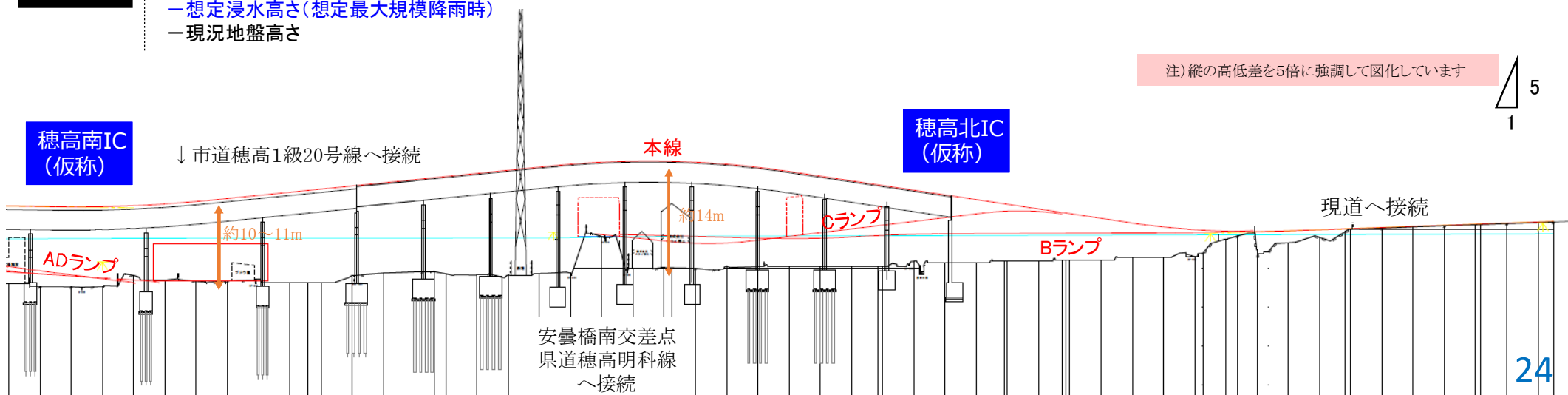
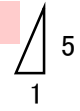
平面図



縦断図

- 計画道路高さ (Red line)
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時) (Blue line)
- 現況地盤高さ (Black line)

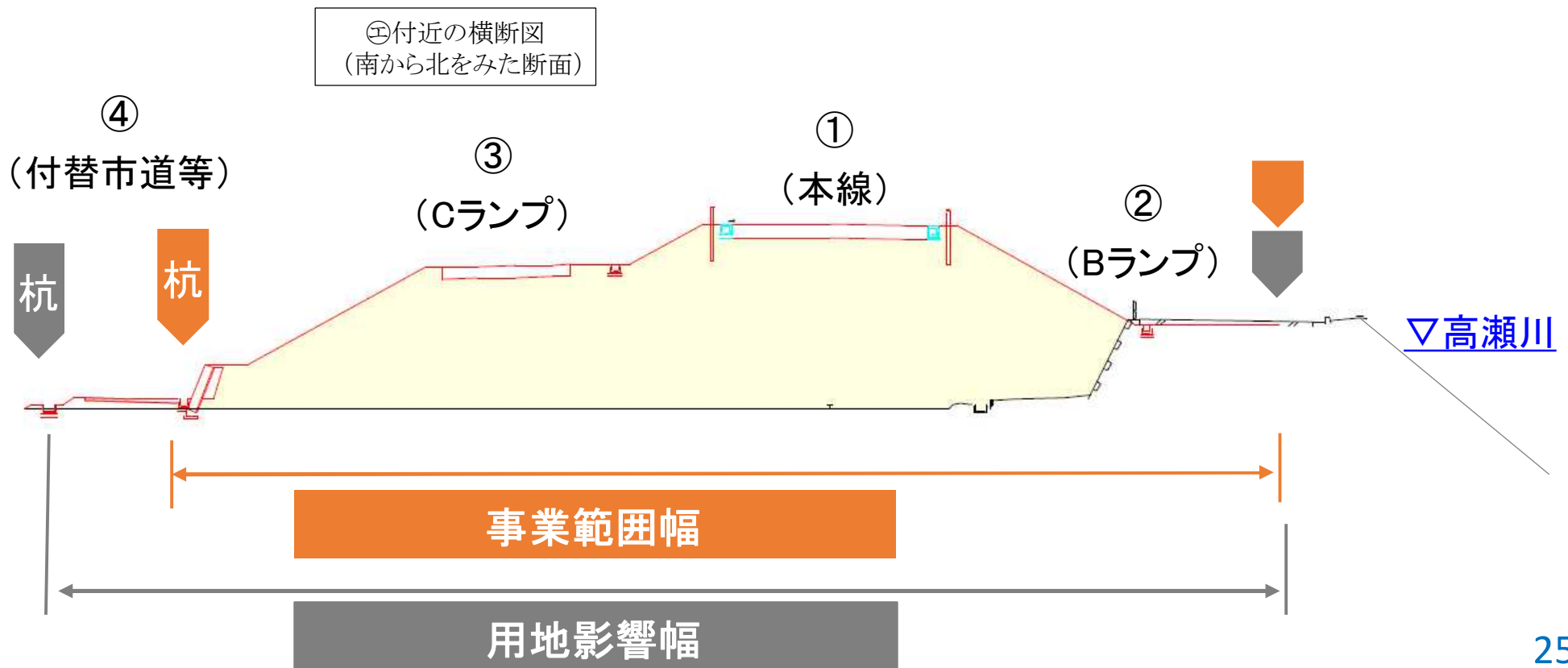
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



(5) 高瀬川右岸（穂高北IC付近）道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ① 穂高北ICでは、安曇野道路本線の両脇に乗り降りするためのランプを設けます
- ② 現在の高瀬川右岸道路（県道有明大町線）はBランプ（1車線）として活用します
- ③ 安曇野道路本線の住宅地側へCランプを設けます
- ④ 現在、河川堤防の住宅地側にある道路や水路は、Cランプの住宅地側へ付け替えを行います
 - ・Cランプと付替え道路の間に道路排水を設けます。
 - ・付替え道路と農地の間に用水路を設けます。



(5) 高瀬川右岸（穂高北IC付近） 事業範囲・用地影響幅等

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

㊦ 高架橋付近：幅員9.5m＋コンクリート製防護柵幅＋ α

- ・近隣市道等について変則的な影響が生じます

㊧ 安曇橋南交差点付近（変則的な影響）

- ・交差点付近は箇所により影響範囲が異なり、影響は変則的となります

㊨ 穂高北ICの中央部付近：約40～50m

- ・Cランプが住宅地側を通る関係で、中央部付近で影響幅が広がります

㊩ 市道穂高3165号線付近：約10～20m

- ・穂高北ICから高瀬川への接続部に向かって、徐々に影響幅が小さくなっていきます

○ 住宅地近傍の高架橋は、鋼橋より騒音が低減されるコンクリート橋を予定しています。

○ 市道穂高3165号線と高瀬川右岸道路の接続部は、穂高北ICの合流部となり交差は危険なため、高瀬川右岸道路へ向かう際は、穂高北ICのCランプ沿いに付替える市道をご利用ねがいます

(I) 安曇野道路

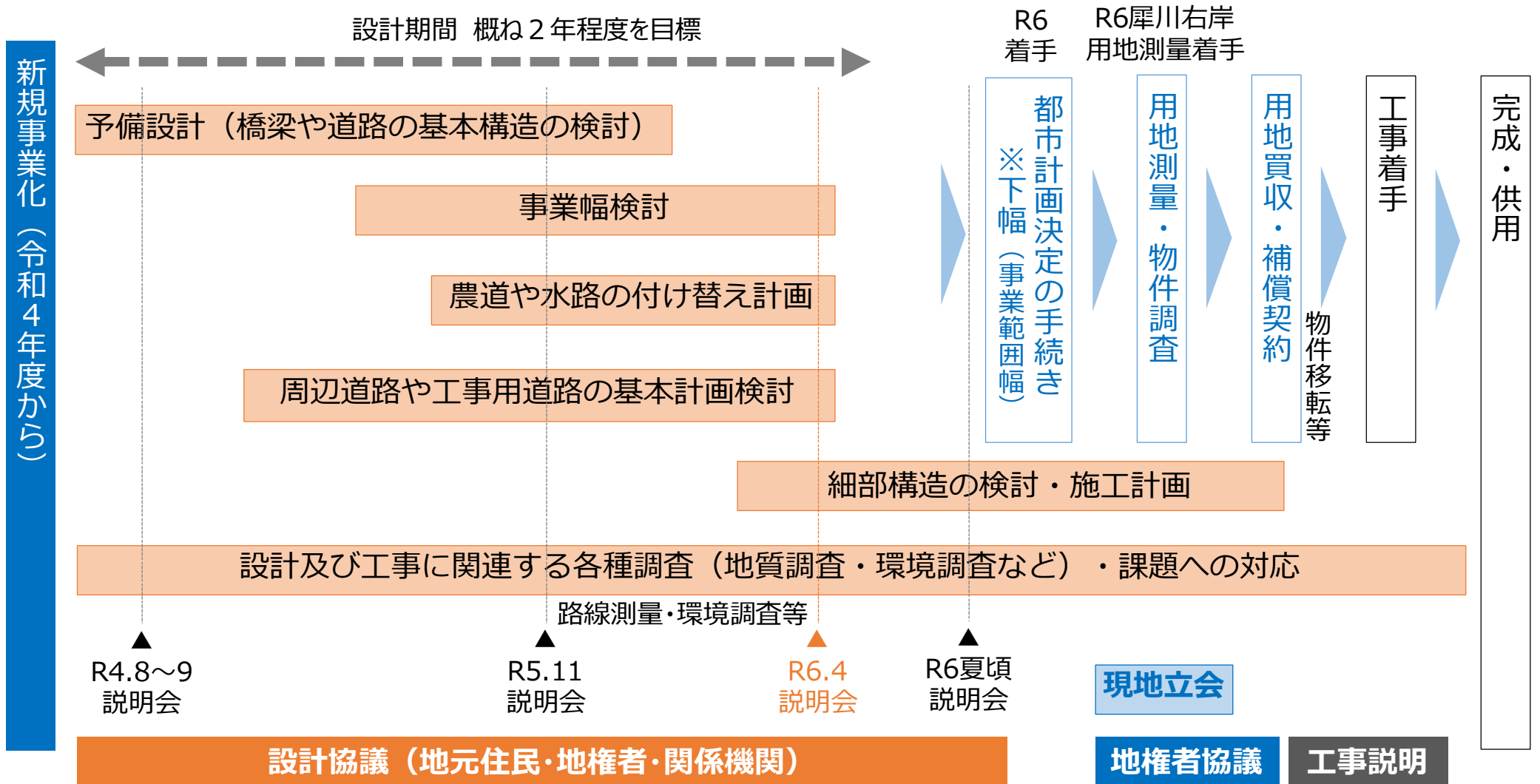
(iii) 調査予定と今後の進め方

※一部IC名の“仮称”を省いています

今後の流れ

- ・ R4. 8～9 : 設計方針等についてご説明しました。
- ・ R5. 11 : 具体的な設計内容等についてご説明しました。
- ・ R6. 4 : 具体的な事業範囲（用地影響）幅等をご説明しました。
- ・ R6. 夏頃 : 都市計画決定の内容等について説明予定です。

注) 今後の予定は
R6.4時点での目安です



今後の進め方 計画地周辺の土地所有者の皆様へ

- 土地を貸している方は、土地利用者への情報提供を行っていただきますようお願いいたします。
- 事業範囲(用地影響)幅を、今後、現地へ目安(杭)としてお示しします
 - ・現地測量と作業はR6.5～R6.6頃を予定
 - ・設置場所は畔等とし、杭は頭まで打ち込むなど、支障の少ない方法を予定
 - 用地境界等の確認のため、今後、用地測量を実施予定です(実施時に改めてお知らせします)
 - ・犀川右岸 : R6秋以降に実施予定
 - ・高瀬川右岸: 時期未定

※用地測量後、現在の用地境界確認の立会い等もお願いさせていただきます
 - 犀川右岸の耕作等について、少なくとも令和7年度秋までは可能な工程を考えています
(高瀬川右岸については、詳細な工程は未定となります)
なお、工事着手後も、影響範囲以外での耕作が極力行えるよう施工計画を検討しています
また、用地買収地以外の農地貸借等について、市と連携してご意見をお聞きします
 - 工事を実施する際、借地へのご協力をお願いする場合があります
また、工事ヤード等として土地をお貸しいただける方は、ご一報いただけると幸いです
(借地のご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください)

上記について、ご意見や質問等がある際は、建設事務所へご相談ください

今後の進め方

工事着手・完成予定時期等について

- 今後、道路事業として必要な土地範囲を都市計画決定した後、用地買収に入る予定です。
その後、ある程度用地が確保できた段階で工事に着手します。
また、早期に効果が出るよう、部分的な供用等も含めて検討を進めます。
- 犀川右岸地区の工事用道路について、主に以下のルートを予定しています。
今後、高瀬川左岸も含め、更に具体的な内容を検討していきます。
 - ・安曇野道路 買収地内
 - ・安曇野道路沿いの付替え市道・既存市道等
 - ・犀川右岸 堤防管理用通路
 - ・安曇野道路と幹線道路(国道19号等)を結ぶ市道 (市道明科4036号線含む)
- 今後も、地域の意見を伺いながら、工事の順番、施工計画について検討していきます。

今後の調査予定 (R6前半)



調査・設計等の実施状況と今後の予定

※会社名は業務委託先です。
実施項目や時期は、今後の状況により変更の可能性があります。

(1)安曇野北IC	犀川右岸 (2)堤防並行区間 (3)明科IC		(4)三川合流部	(5)高瀬川右岸	区間
▶道路概略設計、地形測量、地質調査、環境調査等					今までの 主な 取組み
▶ IC設計	▶道路予備設計		▶橋梁予備設計		
▶ 路線測量 (株)ゼンシン ～R6年3月	▶ 路線測量・杭設置 (株)アンドー ～R6年6月		▶ 路線測量・杭設置 大成測量設計(株) ～R6年6月		R6年度 主な 取組み
▶ 環境調査 ・ 動植物調査 (株)アンドー ・ 地下水解析 (株)東京建設コンサルタント ・ 水質・大気質調査等 (株)大日本ダイヤコンサルタント ▶ 道路・橋梁等構造物設計、地質調査 など					

↓R6.3

今後、上記のとおり現地での測量や環境調査等を実施します。

- ・ 作業は、平日の概ね午前8時～午後5時の間を予定しています。
- ・ 作業時は「測量中」「調査中」等の看板を設置し、作業者は「身分証明証」を携帯します。
- ・ 一時的に土地へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
(※土地を貸している際は、関係者様にお伝えいただきますようお願いいたします)

今後の現地作業等の予定（概要）

- 十分な測量や調査等を行い、現状を把握することで設計や工事計画に反映
- ➡ 今後、以下調査項目の現地作業を予定しています（今後変更となる可能性もあります）

現地作業予定概要 一覧表

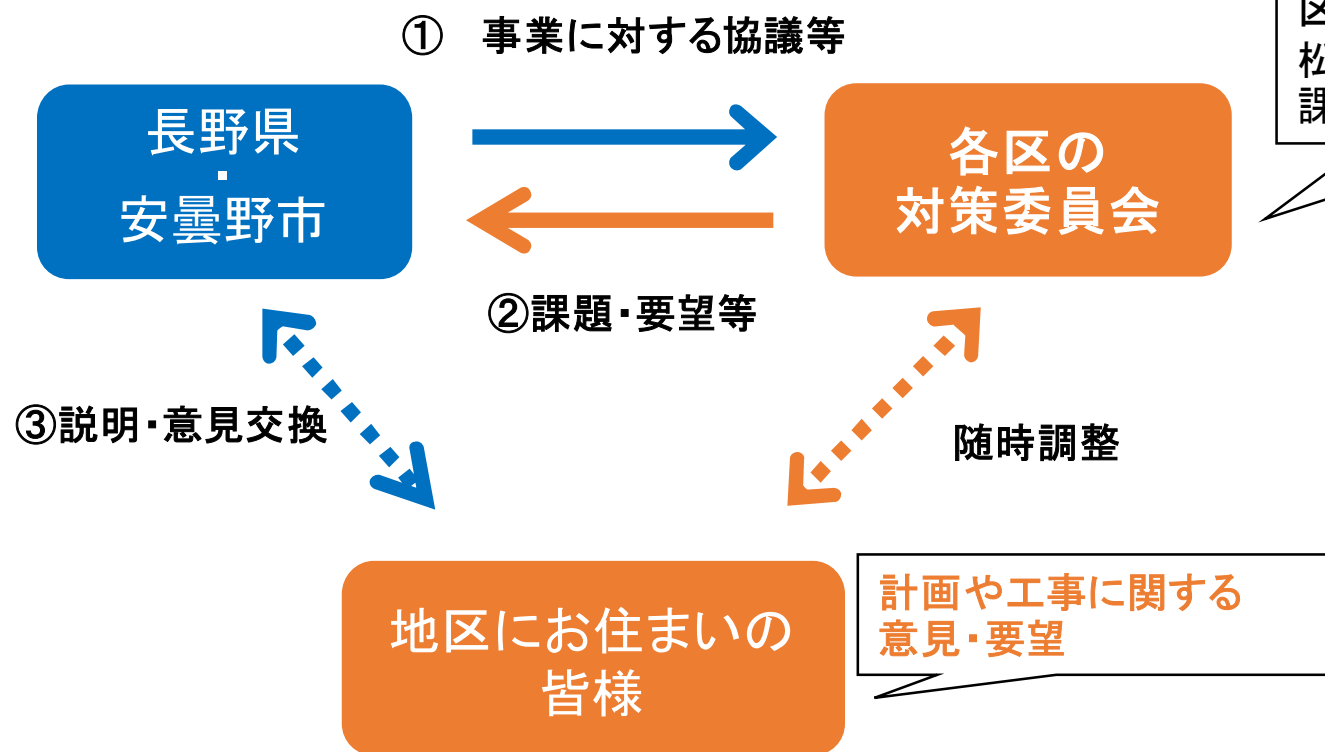
【凡例】○：現地作業あり △：現地確認のみ

項目	作業対象							作業時期					
	豊科光	明科光	宮中	町	狐島	河川内	備考	R5-6 冬	R6春	R6夏	R6秋	R6-7 冬	備考
測量等 (杭設置含)	○	○	○	-	○	○	安曇野道路から 左右約50mの範囲	■	■	■			R5.11-R6.1は断続的に実施 R6.5-6を予定
動物	○	○	○	-	○	○	沿道地域	■	■	■	■		各季節1週間程度
植物	○	○	○	-	○	○	沿道地域		■	■	■		各季節1週間程度
水質		○	○	○	○	○	河川・水路等	■	■	■			R6.1～8に1回/月
大気質			○		○		官地・公用地内	■		■			各季節1週間程度
騒音	○	○	○		○		沿道地域		■				うち1週間程度
振動	○	○	○		○		沿道地域		■				うち1週間程度
日照	△	△	△	△	△	△	沿道地域						現地確認のみ
電波	△	△	△	△	△	△	沿道地域						現地確認のみ
地下水	△	△	△	△	△	△	周辺井戸観測等						現地確認のみ
地質調査						○	三川合流部 (犀川・穂高川付近)		■			(時期未定)	R6.4-5を予定 (R6秋以降の時期は未定)

対策委員会について

大規模な事業で完成までに時間を要することを踏まえ、**道路整備に伴う課題について、それぞれの区で継続的に検討をしていただく必要がある**と考えます。

今後、調査設計、工事を進めていくにあたり、**地元の皆さんの生活への配慮、また、道路を地域に活かして頂くことなどについて、区の意見をお聞きしながら進めていきたい**と考えています。



R6.4.9 区対策委員会連絡会議(県・市・関係区代表者)

(Ⅱ) 関連市道整備

(i) 検討状況

※一部IC名等の“仮称”を省いています

関連市道整備の想定箇所

- ① 安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備
 - 市道明科4036号線を改良し整備
- ② 安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備
 - すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策
 - 高速バス停利用時の歩行者の安全対策
- ③ その他 耕作道路・生活道路の安全対策
 - ①②に含まれないものについて対策を検討



前回までの説明会等での主なご意見への対応方針

①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

- ☑ 設計方針(市道明科4036号線の活用等)に関する賛同意見。
 - ➡ アクセス道路は市道明科4036号線で考えていますが、要望や課題解決に向けてご意見をお聴きしながら進めていきます。

- ☑ アクセス道路の路線選定過程に疑問がある。
 - ➡ 整備方針をお示しし、説明会等でご意見をお聞きしながら地域との対話を重ねてきました。アクセス道路の整備効果を念頭に他路線も検討するなかで、明科地域へのアクセス性向上、現道活用や地形等を考慮し、市道明科4036号線が最適であることを説明してきました。

- ☑ アクセス道路の整備効果に疑問がある。
 - ➡ 物流がスムーズになり産業の発展や観光地へのアクセス向上のほか、地域間のつながりも強化され、地域全体の活性化に繋がると考えています。

- ☑ 市道明科4036号線の整備に関する要望
(国道交差点への信号機設置、車両等の転落防止、法面の維持管理負担軽減 など)
 - ➡ 信号機設置については、関係機関と協議を行っていきます。その他の要望についても設計段階で構造等を検討し関係する方へ計画案をお示しします。

前回までの説明会等での主なご意見への対応方針

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

- ☑ 豊科出入口と幹線道路とをつなぐ道路整備は行うのか。
- ➡ 豊科出入口は高速バス利用者や地元住民の利用を想定しているため、幹線道路までのすれ違いがしにくい箇所や、見通しが悪い箇所の対策として、部分的な改良や安全対策を予定しています。

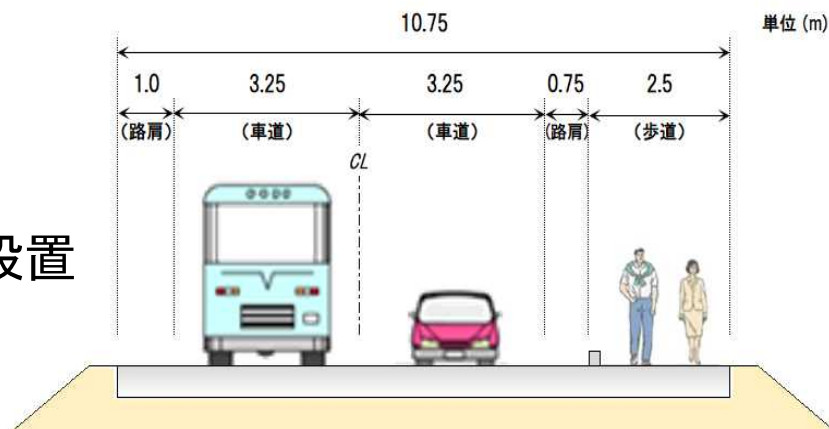
③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

- ☑ 周辺道路への流入対策や安全対策等を実施してもらいたい。(農道・堤防管理用通路・市道豊科4034号線・前川沿い市道、通称仏坂ルート等)
- ➡ 現状の把握のため、交通量調査を行いました。
このデータを基に対策を検討していきます。

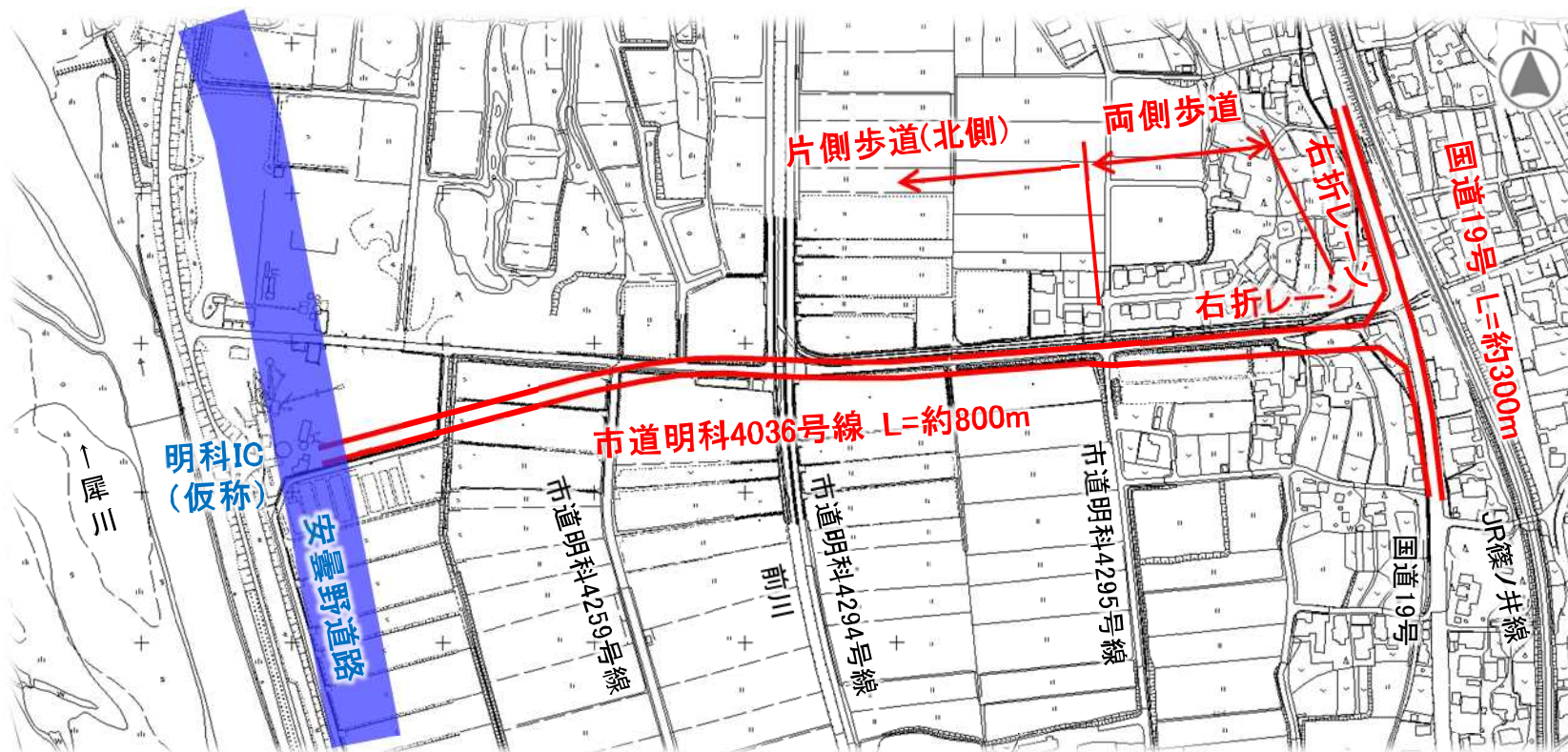
①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

市道明科4036号線 設計方針

- 道路線形
現道を活用し拡幅
- 右折レーン
国道交差点部分の国道と市道明科4036号線に設置
- 歩道
住宅が隣接している箇所は両側、その他は片側
- その他
国道交差点部は信号機の設置を検討



※ 歩道を片側のみに設置した場合



計画をイメージしていただくため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

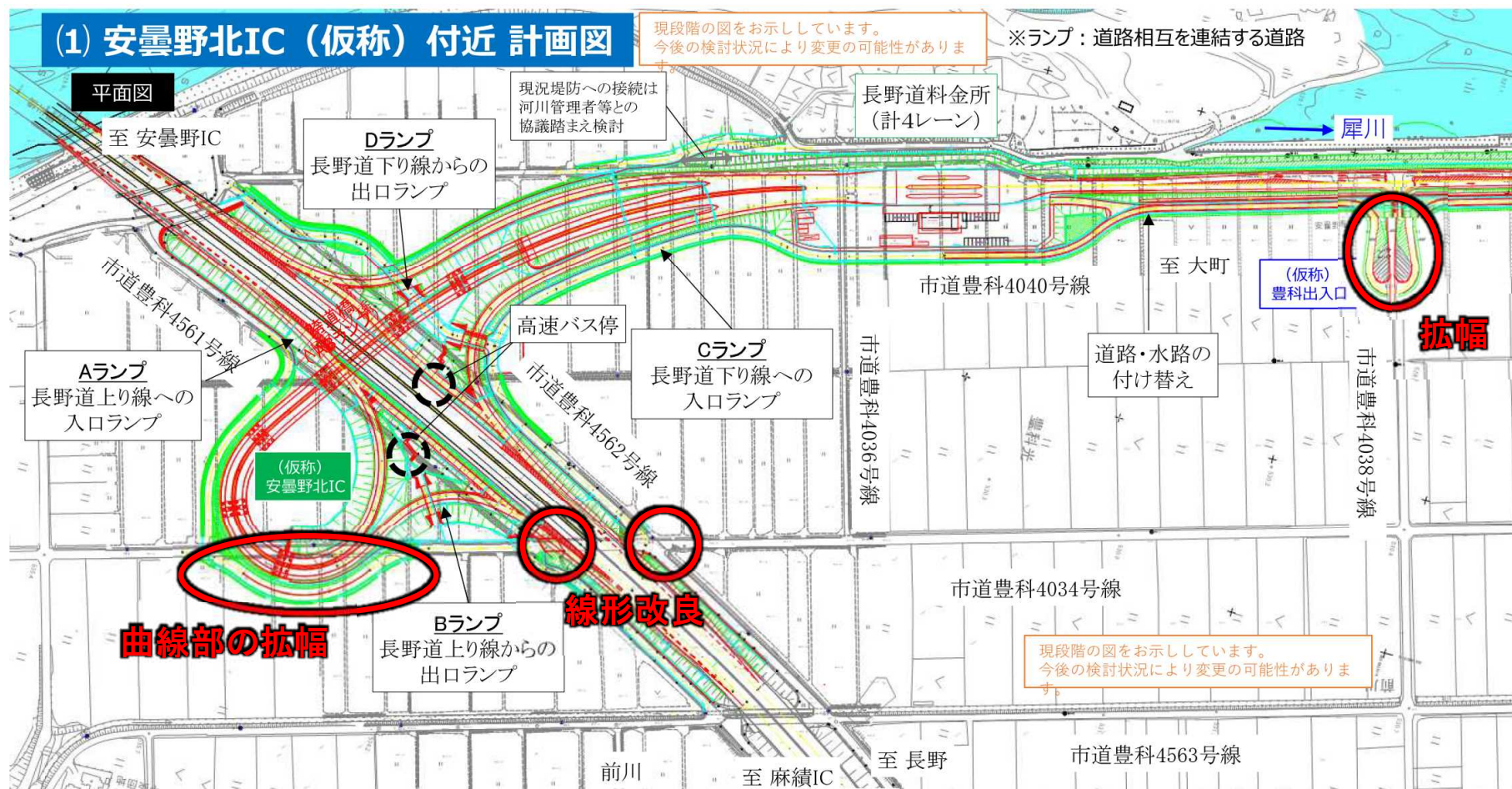
- すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策

【前回説明箇所】

- 豊科出入口の市道豊科4038号線接続部の整備
- 市道豊科4561・4562号線と市道豊科4034号線との交差点の線形改良

【追加整備箇所】

- 市道豊科4034号線の付替え部(曲線部分)における拡幅



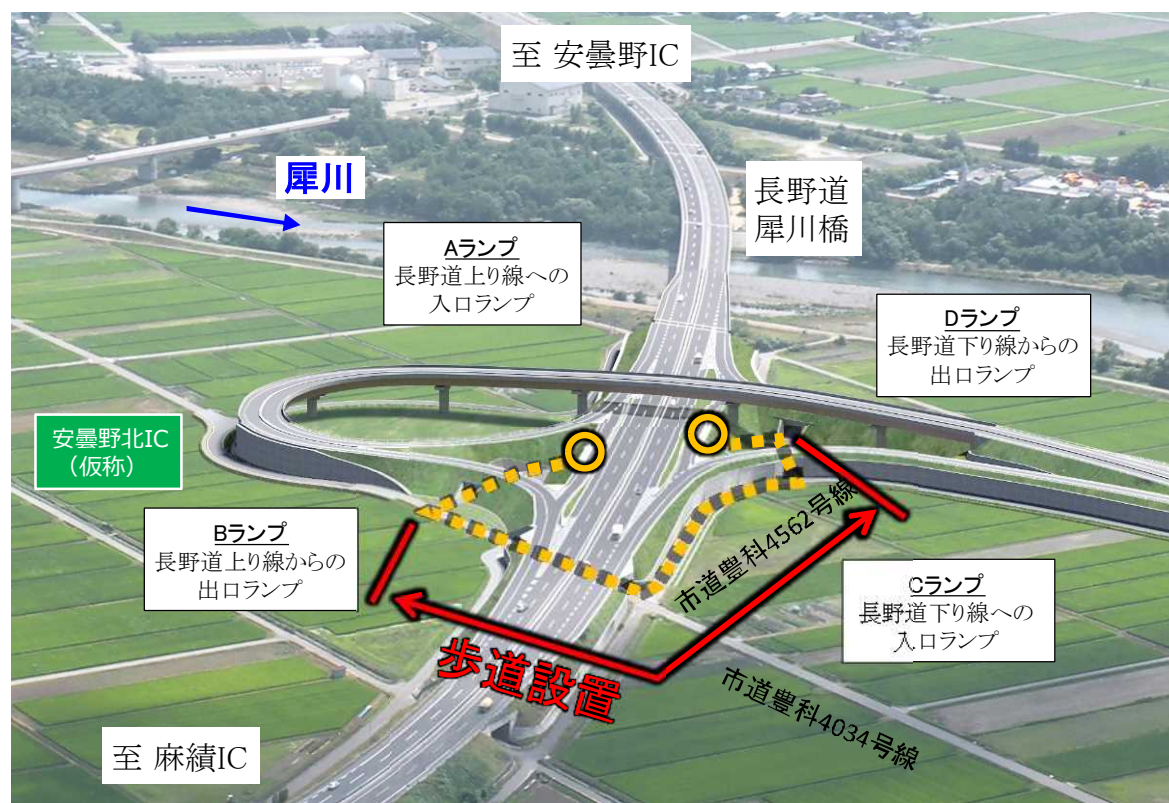
②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

●高速バス停利用時の歩行者の安全対策

市道豊科4034・4562号線の歩行者動線部分への歩道設置

駐車場の場所は歩行者動線の沿線を候補として検討(規模は既設同等)

● 高速バス停
■■■■ 歩行者動線



③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

●交通量調査

調査日時: 令和6年3月7日(木) 7:00~9:00および17:00~19:00

(1)【朝】【北⇨南】

台/2h ※大型車は除いています



(2)【朝】 【北⇦南】 仙坂(通称)への流入63台/2h

その他地点は最大で30台程度/2h

(3)【夕方】【北⇨南】 仙坂(通称)からの流出68台/2h

その他地点は最大で40台程度/2h

(4)【夕方】【北⇦南】 仙坂(通称)への流入60台/2h

その他地点は最大で30台程度/2h

(ii) 今後の予定

① 安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

- 市道明科4036号線の改良設計を実施(影響する国道部分も含む)
- 現地での路線測量やボーリング調査を行う

② 安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

- すれ違いしにくい・見通しが悪い箇所対策として整備する箇所の詳細な検討
- 歩道設置部分の幅や構造など詳細な検討
- 高速バス停駐車場候補地の検討
- 説明会等で改良要望が出された箇所の検討

③ その他 耕作道路・生活道路の安全対策

- 交通量調査結果や対策事例などを参考に意見交換を行っていく

□ それぞれの進捗状況に合わせて地域への説明を行っていきます

お問い合わせ先

○ **長野県 安曇野建設事務所 整備課 計画調査係**

電話 0263-72-8308 (直通)

FAX 0263-72-8882

メール azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

○ **安曇野市役所 都市建設部 建設整備課**

電話 0263-71-2330 (直通)

FAX 0263-72-3569

メール kensetsu@city.azumino.nagano.jp

県ウェブサイトにも松糸道路の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>

安曇野道路

